

■ 4. 教室周知PRの状況

4-1 学校長、教職員宛通知文書

4-2 児童、保護者宛通知文書

4-3 ポスター通知

4-4 ホームページ、QRコード通知、モバイルホームページ画面

4-5 ケーブルテレビ画面

4-3 ポスター通知

※12月度ポスター掲示模様



※3月度ポスター掲示模様



4-4 ホームページ、QRコード通知、モバイルホームページ画面

※ホームページ画面

※QRコードの掲載

※携帯端末用サイト

雲南市文化体育施設利用
うんなん元気っ子
★わくわく教室★
| トップページ |
▶ 新着情報
▶ わくわく教室って何?
▶ スケジュール
▶ メール会員募集中

うんなん元気っ子
9月 わくわく教室

9月27日(土) 10時~15時

【モデルロケット教室】

会場:雲南市加茂B&G海洋センター

参加費:1人500円 ※要申込み(締切23日まで)

~問い合わせ~



雲南市加茂B&G海洋センター

TEL (0854)49-7100



うんなん元気っ子
10月 わくわく教室

10月25日(土)・26日(日) 10時~12時

【子ども絵画教室】

会場:古代鉄歌謡館(大東)

参加費:無料 申込み:不要



~問い合わせ~



古代鉄歌謡館

TEL (0854)43-6568



うんなん元気っ子
11月 わくわく教室

11月29(土) 15時~17時

【動くおもちゃと紙コマづくり】

会場:大東体育館(大東)

参加費:無料 申込み:不要

~問い合わせ~



大東公園市民体育館



TEL (0854)43-5511

うんなん元気っ子
2月 わくわく教室

2月28(土) 14時(開場) 14時30分(開演)

親子夢未来コンサート~六子(ろこ)ライブ!~

会場:加茂文化ホールラメール ※要申込み

材料費:300円(未来の自分へのお手紙代)

~問い合わせ~



加茂文化ホールラメール



TEL (0854)49-8500

■ 5. 教室参加者数・ボランティアスタッフ数

各施設別参加人数

(平成20年7月25日～平成21年3月20日)

施設名	7・8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
チェリヴァホール	515	152	284	216	265	20	199	113	1,764
古代鉄歌謡館	345	418	127	145	46	67	77	251	1,476
大東体育館	183	140	156	143	72	56	107	102	959
アスパル	180	151	128	101	112	52	127	76	927
海洋センター	272	554	40	39	52	97	69	207	1,330
ラメール	138	160	204	68	96	25	504	26	1,221
その他(出前含む)	798	160	41	234	7	519	0	29	1,788
合計	2,431	1,735	980	946	650	836	1,083	804	9,465

人気教室ベスト3

チェリヴァ	古代鉄歌謡館	大東体育館	アスパル	海洋センター	ラメール
マジック教室	神楽教室	エアロビクス	アスパルキッズ	BGキッズ	お料理教室
映画上映	絵画教室	卓球教室	科学の広場	木工教室	パーカッション
将棋道場	神楽鑑賞	スポンジテニス	キッズバスケ	体操教室	ハーブに親しもう

施設別参加人数・教室数比較

【平成19年度】

施設名	教室回数	参加人数
チェリヴァホール	48	1,334
古代鉄歌謡館	44	417
大東体育館	17	369
アスパル	69	1,048
海洋センター	90	503
ラメール	72	367
出前教室	7	362
合計	347	4,400

【平成20年度】

施設名	教室回数	参加人数
チェリヴァホール	48	1,764
古代鉄歌謡館	64	1,476
大東体育館	46	959
アスパル	73	927
海洋センター	66	1,330
ラメール	91	1,221
出前教室	36	1,788
合計	424	9,465

スタッフ参加人数比較

【平成19年度】

施設名	参加人数
コーディネーター(研究員)	391
安全管理人	521
ボランティアスタッフ	585
合計	1,497

【平成20年度】

施設名	参加人数
コーディネーター(研究員)	618
安全管理人	432
ボランティアスタッフ	680
合計	1,730

■ 6. 事業の成果・効果の検証

6-1 アンケート

①アンケート内容

このアンケートは、「うんなん元気っ子わくわく教室」をもっと楽しいものにするために、みなさんのようすや気持ちを知るものです。テストではありませんから、分からないときは、大人の人に聞いて全員が書いてください。

☆ 1・2・3年生は、おうちの人といっしょにアンケートをしてください。

1月21日(水)までに担任の先生に出してください。

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室

うんなん元気っ子わくわく教室 アンケート

小学校 年(男・女)

問1 あなたは、週末(土曜日・日曜日)や休みの日、何をしていますか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------------|
| ア | 友だちと遊ぶ | カ | わくわく教室に参加する |
| イ | 兄弟、姉妹と遊ぶ | キ | スポ少(スポーツクラブ)活動に参加する |
| ウ | お父さん、お母さんと遊ぶ | ク | 家で勉強したり本を読む |
| エ | 家族で出かける | ケ | ゲームやカードで遊ぶ |
| オ | 塾(じゅく)や習い事に行く | コ | そのほか() |

問2 平日に学校や公民館でしている放課後子ども教室や児童クラブに参加していますか？

- ア 参加している
イ 参加していない

問3 あなたは、「うんなん元気っ子わくわく教室」に参加したことがありますか？

- ア ある(問4～8へ)
イ ない(問9へ)

問4 あなたは、「うんなん元気っ子わくわく教室」にこれまで何回参加しましたか？

- ア 1回～5回
イ 6回以上
ウ 10回以上

問5 参加した教室を選んだ理由はなんですか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------------|
| ア | 内容が楽しそうだったから | オ | 親子で参加できるから |
| イ | 会場が家から近いから | カ | 勉強になりそうな内容だから |
| ウ | 友達にさそわれたから | キ | 雲南市のいろんな所にいけるから |
| エ | 新しい友達ができるから | ク | そのほか() |

【うらがわもあります】

<児童用 1枚目>

問6 会場にはどのようにして行きましたか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | | | |
|---|----------|---|-------------------|
| ア | 歩いて | オ | 市営(しえい)バスで |
| イ | 自転車 | カ | 夏休みにキョロパスを使い市営バスで |
| ウ | 家族の自動車で | キ | そのほか () |
| エ | 友達の家族の車で | | |

問7 あなたにとって「うんなん元気っ子わくわく教室」は、どのような教室であってほしいですか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | |
|---|----------------------------|
| ア | 友だちと一緒に楽しく遊べる教室 |
| イ | 学校ではできない、いろいろなことが体験できる教室 |
| ウ | 自分の好きなことや得意なことを、上達させるための教室 |
| エ | はじめての発見や、いろんなことを教えてくれる教室 |
| オ | ちがう学校の友だちや大人の人と一緒に活動できる教室 |
| カ | 休みの日に友だちや家族の人たちと一緒に活動できる教室 |
| キ | そのほか () |

問8 「うんなん元気っ子わくわく教室」でどんなことをしてみたいですか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | |
|---|--------------------------------|
| ア | いろいろなスポーツをやってみたい |
| イ | いろいろな楽器を演奏(えんそう)してみたい |
| ウ | 工作や実験をしてみたい |
| エ | 雲南省のいろんなところに行ってみたい |
| オ | いろいろな映画(えいが)や人形劇(にんぎょうげき)をみたい |
| カ | 料理やおかし作りをしてみたい |
| キ | 太鼓(たいこ)や神楽(かぐら)をしてみたい |
| ク | 文化ホールのステージで歌ったり、おどったりしてみたい |
| ケ | そのほか、やってみたいことや感想があれば自由にかいてください |

問9 一度も参加したことがない児童は、その理由を教えてください。

例え：スポ少や塾で時間がないから

ありがとうございました。

(お問合せ先)

雲南省文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会〔雲南省加茂文化ホール内〕

TEL : 0854-49-8500 FAX : 0854-49-6200 E-mail : hokago_lamer@yahoo.co.jp

<児童用 2枚目>

保護者の皆さまへ

このアンケートは、今後のよりよい放課後子ども教室の実施に向けて、皆様の意見を反映させるものです。お手数をおかけしますが、必ずご記入いただき、児童用のアンケートと一緒に1月21日(水)までに児童さんを通じて学校へ届けてくださいますようお願いいたします。

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室

うんなん元気っ子わくわく教室 アンケート

【保護者用】

学校名

問1 あなたは、「うんなん元気っ子わくわく教室」を知っていますか？

- ア 知っている (問2～7へ)
- イ 知らない (問7へ)

問2 「うんなん元気っ子わくわく教室」をどのようにして知りましたか？
(複数回答可)

- | | |
|----------------|----------------|
| ア 毎月配付されるプログラム | オ ケーブルテレビの文字放送 |
| イ 学校の先生からの紹介 | カ ホームページ |
| ウ 知人からの紹介 | キ 有線放送 (告知放送) |
| エ 子どもから聞いた | ク その他 () |

問3 「うんなん元気っ子わくわく教室」に参加したことはありますか？

- ア 子どもが参加した
- イ 親子で参加した
- ウ 参加したことがない

問4 子どもたちの健全な育成を支援していく上で「うんなん元気っ子わくわく教室」はどのようなところが有効だと思いますか？ (複数回答可)

- ア 設備の整った本格的な施設で遊んだり、学んだりできる
- イ 子どもたちが異年齢の友だちと遊んだり、学んだりできる
- ウ 子どもたちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- エ 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- オ 地域の大人同士が関わりを持てる
- カ 有効だとは思わない
- キ その他

【裏面もあります】

<保護者用 1枚目>

問5 「うんなん元気っ子わくわく教室」の開設により、子どもたちにどのような変化を感じましたか？
(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ア 市内の文化・体育施設に通う機会が増えた | キ 相手を思いやるやさしい気持ちを持てた |
| イ 屋外で遊ぶ子どもが増えた | ク 礼儀正しくなり、よくあいさつできる |
| ウ 市内の他の小学校に友達ができた | ケ 異年齢の交流が盛んになった |
| エ 市内の施設や歴史に興味をもった | コ 自分からきちんと後片付けをする |
| オ 発想が豊かになった | サ 特に変わっていない |
| カ 集中力がついた、我慢強くなった | シ その他（具体的に） |

問6 これからの「うんなん元気っ子わくわく教室」に期待することとは何ですか？
(複数回答可)

- ア 平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制づくり
- イ 学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- ウ 体験活動から地域の魅力を再発見できる、「生きる力」を育てる教室の開催
- エ スポ少や部活動で週末忙しい子どもたちも参加できる内容や時間帯の教室
- オ 掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- カ 特にない
- キ その他（具体的に）

問7 「うんなん元気っ子わくわく教室」に関して、意見や要望がありましたらお書きください。
(実施を希望する活動や教室についてもご記入ください)

ご協力ありがとうございました。

(お問合せ先)
雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
(雲南市加茂文化ホール内)
TEL : 0854-49-8500 FAX : 0854-49-6200
E-mail : hokago_lamer@yahoo.co.jp

<保護者用 2枚目>

教職員の皆さまへ

このアンケートは、今後のよりよい放課後子ども教室の実施に向けて、皆さまの意見を反映させるものです。また、このアンケートは、文部科学省が実施している放課後子どもプランモデル事業としての大切な調査で、児童及び保護者のアンケートと同時に教職員の皆さまにもお願いするものです。お手数をおかけしますが、必ずご記入いただき、1月21日（水）までにご回答いただきますようにご協力をお願いします。

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室 うんなん元気っ子わくわく教室 アンケート 【教職員用】

学校名

問1 あなたは、「うんなん元気っ子わくわく教室」を知っていますか？

- ア 知っている（問2～6へ）
- イ 知らない（問6へ）

問2 「うんなん元気っ子わくわく教室」の広報・啓発のあり方としてなにが効果的だと思いますか？
（複数回答可）

- ア 毎月配付されるプログラム
- イ 学校教職員からの紹介
- ウ ホームページでの活動紹介
- エ ケーブルテレビの文字放送
- オ 有線放送（告知放送）
- カ QRコードの活用
- キ その他（ ）

問3 子どもたちの健全な育成を支援していく上で「うんなん元気っ子わくわく教室」はどのようなところが有効だと思いますか？（複数回答可）

- ア 設備の整った本格的な施設で遊んだり、学んだりできる
- イ 子どもたちが異年齢の友だちと遊んだり、学んだりできる
- ウ 子どもたちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- エ 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- オ 地域の大人同士が関わりを持てる
- カ 有効だとは思わない

問4 「うんなん元気っ子わくわく教室」について、子どもたちとどのようなコミュニケーションをしていますか？（複数回答可）

- ア 毎月のプログラムを読んで内容について子どもたちに話をする
- イ 毎月のプログラムを事前に読んで教室について子どもたちに参加を促がした
- ウ 子どもたちとの会話の中で「うんなん元気っ子わくわく教室」の話題にふれる
- エ うんなん元気っ子わくわく教室に参加した
- オ 特にしていない
- カ その他

【裏面に続きます】

<教職員用 1枚目>

問5 これからの「うんなん元気っ子わくわく教室」に期待することとは何ですか？
(複数回答可)

- ア 平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制づくり
- イ 学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- ウ 体験活動から地域の魅力を再発見できる、「生きる力」を育てる教室の開催
- エ スポ少や塾で週末忙しいの子どもたちも参加できる内容や時間帯の教室
- オ 掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- カ 特にない
- キ その他（具体的に）

問6 「うんなん元気っ子わくわく教室」に関して、意見や要望がありましたらお書きください。
(実施を希望する活動や教室についてもご記入ください)

ご協力ありがとうございました。

(お問合せ先)
雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
(雲南市加茂文化ホール内)
TEL : 0854-49-8500 FAX : 0854-49-6200
E-mail : hokago_lamer@yahoo.co.jp

<教職員用 2枚目>

②アンケート結果まとめ

調査の目的

「総合的な放課後対策推進のための調査研究」事業において実施したモデル事業の事業評価の一環として、雲南市内小学校児童・保護者・市内小中学校教職員を対象にアンケート調査を行った。

このアンケート調査は、参加者の実態、ニーズ、期待などの具体的なデータを収集することを目的としている。

調査の方法

アンケート調査の実施にあたり、雲南市内各中学校に配置された雲南市教育委員会教育支援コーディネーターに協力を依頼した。教育支援コーディネーターが各小・中学校へ訪問し、アンケート調査の説明及びアンケート用紙の配布・回収を行った。

調査内容

児童へのアンケート

- ①休日の過ごし方
- ②参加状況
- ③教室を選んだ理由
- ④教室への要望
- ⑤教室への希望

保護者へのアンケート

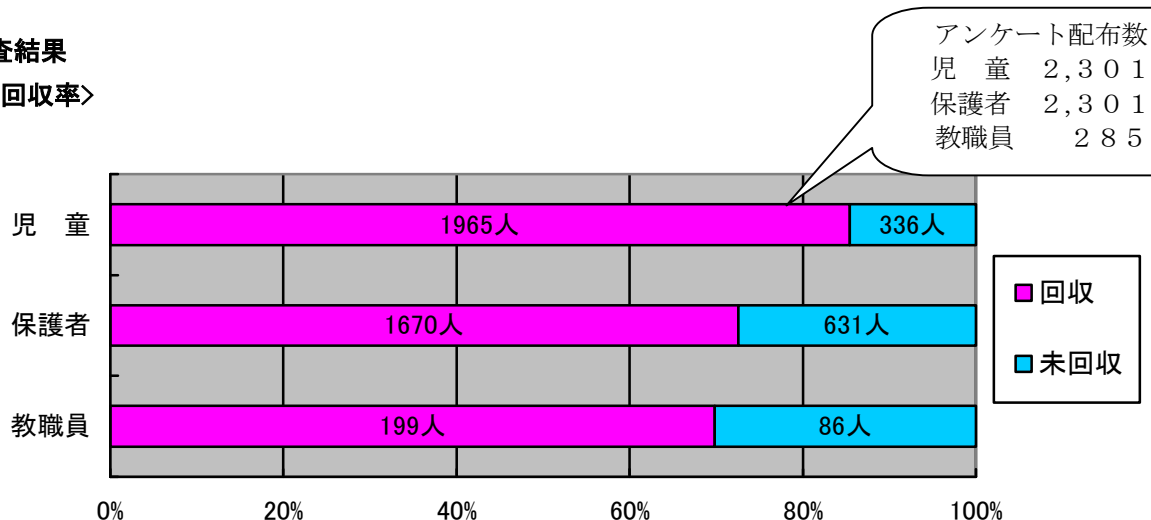
- ①教室の認知度
- ②教室の認知手段
- ③子どもたちの変化
- ④教室の有効性
- ⑤教室への期待

教職員へのアンケート

- ①教室の認知度
- ②周知方法
- ③教室の有効性
- ④参加への促進方法
- ⑤教室への期待

調査結果

<回収率>

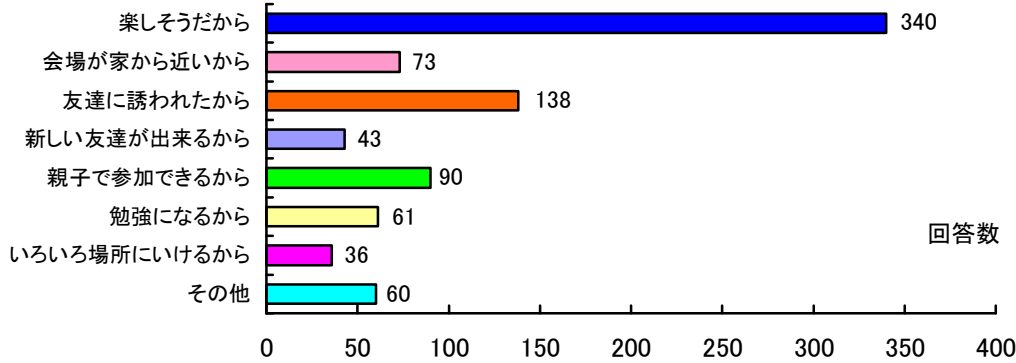


※前年度アンケート(20.2.20 実施)

	(前年度)	(今年度)
回収率 児童	22.6%	→ 85.3%
回収率 保護者	27.9%	→ 73.0%
回収率 教職員	33.1%	→ 69.8%

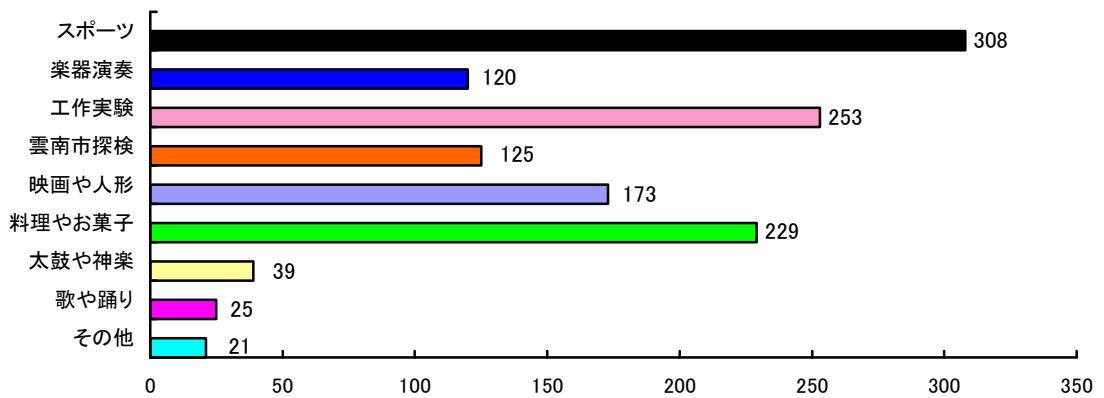
回収率を比較すると前年度に比べ大幅に増えていることが分かる。雲南市の方々への認知度が上がり高い回収率につながっていると考える。これは配布プログラムなど周知・広報に力を入れて取り組んだ成果といえる。

①児童アンケート 参加した教室を選んだ理由は何ですか？(複数回答可)



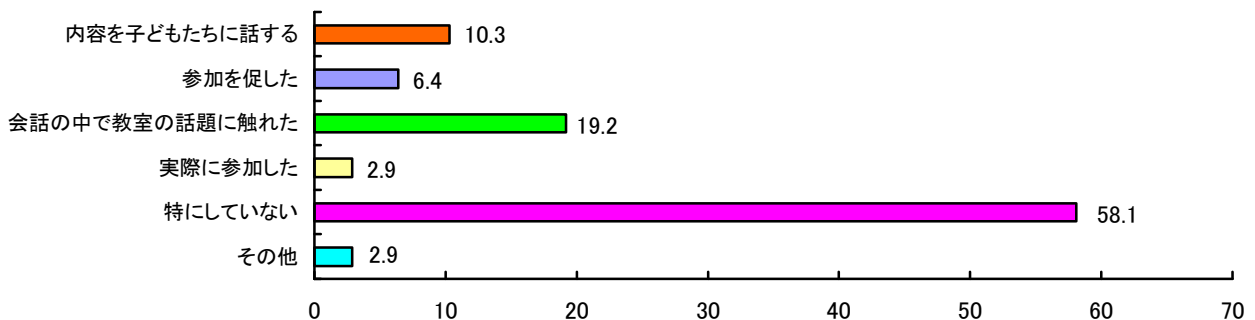
プログラム内容を見たり、参加した事のある友達から誘われて参加をしていることがわかる。テーマにある「楽しく・面白く」をプログラムに組み込み、広報・周知活動に力をいれ、内容の充実した教室展開をする必要がある。

②児童アンケート「うんなん元気っ子わくわく教室」でどんな事をしてみたいですか？(複数回答可)



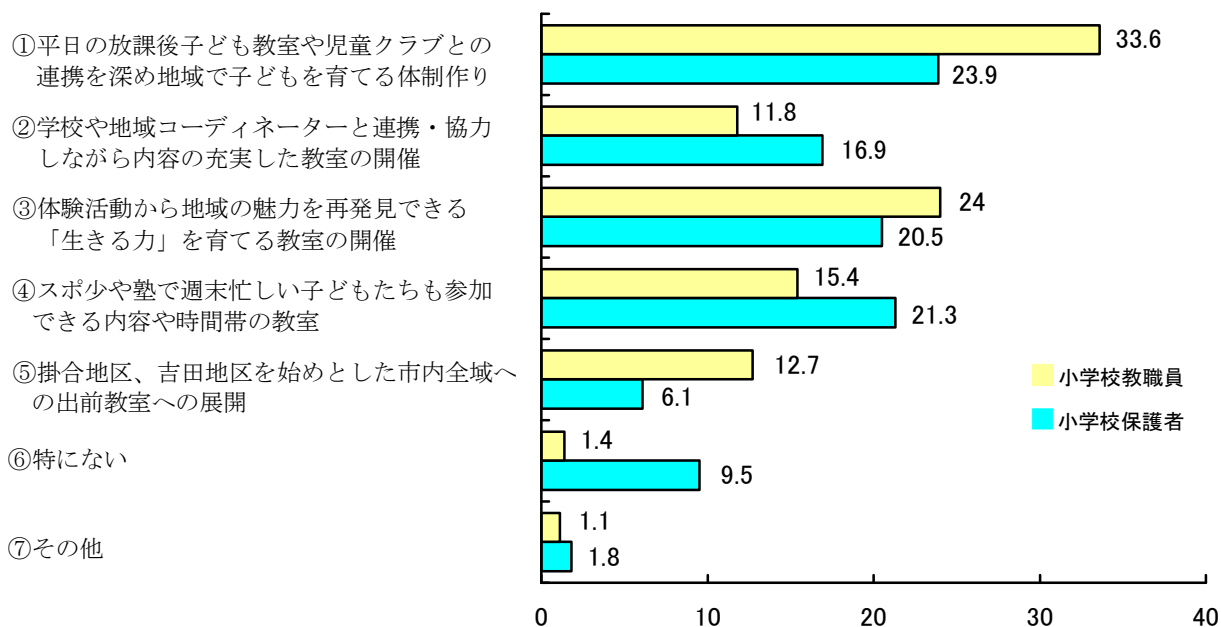
毎月配られるプログラムの活動内容を見て楽しさやおもしろさに惹かれ参加をする子どもたちが多い。子どもたちはいろいろな事に興味を持っており多種多様な事をしたいと思っていることが分かる。

③教職員アンケート「うんなん元気っ子わくわく教室」について、子どもたちとどのようなコミュニケーションをしていますか？(複数回答可)



昨年度と比較して教室に対する認知度は高まっているが、学校行事などの事業が多いために、「わくわく教室」の話題だけを取り上げるのは難しいという意見もある。今後は更なる学校・教職員との連携・協力を深め、学校の求める質の高いプログラムの情報提供が必要だと考える。

④保護者・教職員アンケート これからの「うんなん元気っ子わくわく教室」に期待することについて



～小学校保護者～

- 子どもが長期休業中の活動を引き続き行ってほしい。
- スポーツ系の教室では、子どもたちが能力別に行っていただけるとなお好ましい。
- 障害のある子どもでも参加できるような教室の企画をしてほしい。
- 親子で参加しても、他の保護者の方とお話する機会がない。そういう時間を設けてほしい。
- スポーツ少年団などと連携により、子どもたちの時間を有効に活用してほしい。
- 参加しやすい環境づくり。(会場までの送迎など)

～小学校教職員～

- 子どもを中心に、子どもの願いに沿った活動にしていこうという視点を大事にしてほしい。
- 子どもたちの居場所づくりをすることで、保護者を支援することにつながるのではないか。
- 週末に子どもたちの体験を広げる活動をしてほしい。

⑤「うんなん元気っ子わくわく教室」への意見や要望について～記述式～

～小学校保護者～

- 毎日楽しそうな企画で参加したいと思いますが、家でのテレビ・ゲームの時間をなくさせるよう交流の場があるといいと思う。
- 参加したい教室がたくさんあるのですが、遠いので参加できず残念だと思う。会場までの行く手段がない。
- 毎回親子の料理教室とかの内容のものがいい、その中で「さば寿司」などの郷土料理の教室があってもいいのではないかな。
- 度々違う内容ではなく、「定番」のようにいつも開催される教室があると良いと思う。
- 科学の実験をしてみてもどうか。
- まず施設ありき、ではなくまず活動ありきで計画していただきたい。
- 高校生のボランティアの場にしてはどうか。
- 四季を楽しむ会の開催（山菜を食べよう、秋を食べよう、ネイチャーゲーム、川で遊ぼう、凧を作って凧あげをしよう）などをしてはどうか。
- 歌う楽しさを味わえるプログラムがあればいいと思う。校区の違う人たちと歌でつながることができたら素敵だと思う。
- 練習の成果を発表する場があったら、ますます心が通い合ったりするのではないかな。

～小学校教職員～

- 実施会場が掛合地区から遠いのが壁の一つだと思われる。これを克服するためには、短期的には「キョロキョロパスポート」制度を長期休業中に限らず、週休日にも拡大することであり、長期的には子どもが家族のもとを離れても、安全に活動できるよう昔のような社会全体での見守りの風土を作り上げることが必要だと思われる。
- 子どもたちは各自の稽古事や社会活動に参加している。そんな中であることも考慮して、地域ぐるみで本当に子どもを育てる環境と言えるのだろうか。
- 熱心に活動をしておられるのは良いことだと思いますが、休日は送迎ができない子どもたちは参加ができないし、一部の子どもたちのためだけの活動になっている気がして、もったいないと思います。
- 平日の放課後子ども教室の積極的な支援をしていただきたい。
- 子どもの受け皿があることはありがたい。継続が困難であろうが、なんとか続けてもらいたい。
- 紹介 DVD・VTR を学校へ配ってほしい。その方が子どもにも説明しやすいし、呼びかけやすいと思う。

6-2 雲南市教育フェスタ2008

①開催案内チラシ

「雲南市教育フェスタ2008」

兼雲南市ふるさと教育フェスティバル 兼学校支援地域本部
事業成果発表会 兼わがまち発信プロジェクト成果発表会
兼雲南市PTA連合会研修会

テーマ

地域をあげて

子どもの「育ち」「学び」

を支援するには

参加費無料

平成20年11月30日(日)

9:00~15:25

雲南市三刀屋町「アスパル」



9:00	9:20	9:40	11:10	11:20	12:00	13:10	14:10	14:25	15:25
受付	開会	研修Ⅰ 基調講演 「『弁当の日』で日本を変える」 講師：竹下和男氏 (香川県綾川町立綾上中学校長)	研修Ⅱ 事例発表① 「『弁当の日』の取組	休憩	昼食	研修Ⅲ 事例発表②③ 「夢」発見①の取組 うんなん元気っ子わくわく教室	研修Ⅳ 分科会討議 ①「夢」発見①の取組 ②うんなん元気っ子わくわく教室	休憩	退席

平成19年度、雲南市では「ふるさと雲南キラキラ未来プロジェクト（文部科学省指定『学校支援を通じた地域の連帯感形成のための特別調査研究』）」に取り組み、「『夢』発見プログラム（雲南市キャリア教育推進プログラム）」の策定、中学校区一貫教育推進組織の設置、「雲南市こども応援団（教育ポータルサイト）」の立ち上げなど、学校を地域が支援する体制整備のための調査研究を行いました。

平成20年度からは、「『夢』発見プログラム」の実践を行うとともに、「学校支援地域本部事業」を実施し、地域コーディネーターを全28小中学校に配置するなど、学校を地域が支える体制の整備を行っています。本フェスタでは、これらの事業成果を発表するとともに、学校・家庭・地域・企業・行政がより一層連携して事業実践を推進していくための提言等を行います。



両日、アスパル展示スペースにおいて、雲南市内の小中学校や公民館が取り組まれた「ふるさと教育」、「キャリア教育」、「学校支援ボランティアの活用」等の実践事例のパネル展示を行いますので、ぜひともご覧ください。

主催：雲南市教育委員会
共催：雲南市、雲南市PTA連合会
後援：島根県教育委員会、株式会社キラキラ雲南



11/30 (日)

【「アスパル」小ホール】



● **研修Ⅰ・基調講演** 9:40～11:10

講師：竹下和男氏(香川県綾川町立綾上中学校校長)
演題 「“弁当の日”で日本を変える」

● **研修Ⅱ・事例発表①** 11:20～12:00

「学校・家庭・地域が連携した『弁当の日』の取組について」
【発表者】 雲南市立塩田小学校保護者
【助言者】 竹下和男氏

● **研修Ⅲ-1・事例発表②** 13:10～13:40

「『夢』発見ウィーク(市内一斉の職場体験学習)の取組について」
【発表者】 教育支援コーディネーター

● **研修Ⅲ-2・事例発表③** 13:40～14:10

「放課後・週末・長期休業を活用した『うんなん元気っ子わくわく教室』の実践について」
【発表者】 株式会社キラキラ雲南

研修Ⅳ・分科会討議

第1分科会 14:25～
【アスパル:小ホール】

事例発表②「『夢』発見ウィーク(市内一斉の職場体験学習)の取組について」を基に、課題の抽出、改善策の提言等を行う。

第2分科会 14:25～
【アスパル:娯楽音楽室】

事例発表③「放課後・週末・長期休業等における子どもたちの活動の在り方等について、課題の抽出、改善策の提言等を行う。

11/29 (土)

オプション企画・交流会
何でも語ろう会 18:30～

ゲスト:文部科学省職員有志

問合せ 雲南市教育委員会 教育総務課
申込先 〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
TEL 0854-40-1071 FAX 0854-40-1029
E-mail: kyouikusoumu@city.unnan.shimane.jp

切り取り線

「雲南市教育フェスタ2008」参加申込書

★下記の必要事項をご記入いただき、「FAX」「メール」「郵送」いずれかでお申し込みください★
(※お預かりした個人情報厳重に管理し、この事業に携わる連絡等の目的以外では使用いたしません。)

フリガナ氏名	連絡先 (TEL)					11月20日(木)必着	
11/29 (土)	11/30 (日)					※交流会について 交流会に参加される方は、交流会受付時に4,000円が必要となります。	
交流会	研修Ⅰ	研修Ⅱ ①	研修Ⅲ ②	研修Ⅳ ③	希望分科会に ○をしてください	弁当	※お弁当について 当日お弁当を希望される方は、お弁当受渡し時に500円が必要となります。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	第1 第2	<input type="checkbox"/>	※分科会について 多数参加希望の分科会については、調整させていただくこともありますので、あらかじめご了承ください。

「子どもが作る“弁当の日”」

元 綾南町立滝宮小学校 校長
 前 高松市立国分寺中学校 校長
 現 綾川町立綾上中学校 校長 竹下和男

「弁当の日」の原則

- 1 子どもだけで作る
- 2 小学校5・6年生のみ
- 3 月1回、年5回

「弁当の日」に託した六つの夢

- 1 「一家団樂の食事」が当たり前になる夢
- 2 食べ物の「命」をイメージできるようになる夢
- 3 子どもたちの感性が磨かれる夢
- 4 人に喜ばれることを快く思うようになる夢
- 5 感謝の気持ちで物事を受けとめられるようになる夢
- 6 世界をたしかな目で見つめられるようになる夢

弁当を作る（平成14年度 滝宮小学校の卒業生に贈ったことば・卒業文集への寄稿）

あなたたちは、「弁当の日」を2年間経験した最初の卒業生です。
 だから11回、「弁当の日」の弁当づくりを経験しました。
 「親は決して手伝わないでください」で始めた「弁当の日」でしたが、どうでしたか。

食事を作ることの大変さが分かり、家族を有り難く思った人は優しい人です。
 手順良くできた人は、給料を貰える仕事についてきたときにも、仕事の段取りのいい人です。
 食材が揃わなかったり、調理を失敗したりしたときに献立の変更ができた人は、工夫できる人です。
 友だちや家族の調理のようすを見て、技を一つでも盗めた人は、自ら学ぶ人です。
 微かな味の違いに調味料や隠し味を見抜いた人は、自分の感性を磨ける人です。
 旬の野菜や魚の、色彩・香り・触感・味わいを楽しめた人は、心豊かな人です。
 一粒の米・一個の白菜・一本の大根の中にも「命」を感じた人は、思いやりのある人です。
 スーパーの棚に並んだ食材の値段や賞味期限や原材料や産地を確認できた人は、賢い人です。
 食材が弁当箱に納まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、想像力のある人です。
 自分の弁当を「美味しい」と感じ「嬉しい」と思った人は、幸せな人生が送れる人です。
 シャケの切り身に、生きていた姿を想像して「ごめん」が言えた人は、情け深い人です。
 登下校の道すがら、稲や野菜が育っていくのを嬉しく感じた人は、慈しむ心のある人です。
 「あるもので作る」「できたものを食べる」ことができた人は、たくましい人です。
 「弁当の日」で仲間がふえた人、友だちを見直した人は、人と共に生きていける人です。
 調理をしながら、トレイやバックのゴミの多さに驚いた人は、社会を良くしていける人です。
 中国野菜の値段の安さを不思議に思った人は、世界を良くしていける人です。
 自分が作った料理を喜んで食べる家族を見るのが好きな人は、人に好かれる人です。
 家族が手伝ってくれそうになるのを断れた人は、独り立ちしていく力のある人です。
 「いただきます」「ごちそうさま」が言えた人は、感謝の気持ちを忘れない人です。
 家族が揃って食事をするのを楽しいと感じた人は、家族の愛に包まれた人です。

滝宮小学校の先生たちは、こんな人たちに成長してほしいと2年間取り組んでくれました。
 おめでとう。これであなたたちは、「弁当の日」をりっぱに卒業できました。

平成19年度「自分で作る“弁当の日”」実施計画

香川県・高松市立国分寺中学校

769-0101 香川県高松市国分寺町 1131-1

Tel 087-874-0031 Fax 087-874-0026

<http://www.edu-tens.net/tyuHP/kokubunjiityuHP/>

JR 端岡駅から徒歩 10 分

- 1 生徒だけで作る
- 2 3年間で7回
- 3 毎回、課題（テーマ）設定

卒業までの3年間で7回の“弁当の日”を実施

学年	通算	テーマ	指導内容	19年度 実施日
1	1	四季の季節感 (今が旬弁当)	献立の立て方 弁当作りの条件 生鮮食品と旬	10月9日(火)
	2	我が家の自慢 (こだわり弁当)	我が家の自慢料理調べ	1月28日(月)
2	3	健康管理 (安全・安心弁当) 五色台集団宿泊学習1日目の弁当	切る 焼く 衛生管理と食中毒	5月15日(火)
	4	地産地消 (地元の食材を使った弁当)	ゆでる いためる 炊く 香川県産の食材	10月9日(火)
	5	日本食 (和食弁当)	魚を使った料理 だしのとり方	1月28日(月)
3	6	郷土食 (郷土料理が入った弁当)	郷土料理 郷土料理の作り方	5月21日(月)
	7	もてなす (〇〇に食べてもらいたい弁当)	食事のマナー 感謝の気持ち	10月15日(月)
	番外	クラスごとの授業(なべ奉行になろう) 「なべの日」	先生への謝恩会 家族にふるまう	2月中旬～下旬 未定

※ 給食時間 月曜日 12時30分～13時
火～金曜日 12時20分～12時50分

平成20年度「弁当の日」実施計画

香川県・綾川町立綾上中学校



課題にそって、自分一人で弁当を作ろう(献立、買い出し、調理、弁当箱詰め、片付け)

回	月日(曜)	1年生	2年生	3年生
1	4月27日(日) PTA総会	自由弁当	自由弁当	三角おにぎり弁当 (具材の工夫)
2	6月8日(日) 学校開放日	バランス弁当 (主食・主菜・副菜)	バランス弁当 (主食・主菜・副菜)	バランス弁当 (主食・主菜・副菜)
3	10月6日(月) 給食停止	いろどり弁当 (5色を入れて)	いろどり弁当 (5色を入れて)	いろどり弁当 (5色を入れて)
4	11月16日(日) 学校開放日	健康弁当 (食物繊維)	健康弁当 (食物繊維)	プレゼント弁当 (〇〇のために)
5	12月8日(月) 給食停止	レベルアップ弁当 (焼・煮・炒・揚・和)	レベルアップ弁当 (焼・煮・炒・揚・和)	レベルアップ弁当 (焼・煮・炒・揚・和)
6	1月19日(月) 給食停止	地産地消弁当 (地元の産物)	地産地消弁当 (地元の産物)	給食
7	2月15日(日) 学校開放日	チャレンジ弁当 (郷土料理)	チャレンジ弁当 (郷土料理)	自由弁当

※ 学校開放日は、終日の授業参観日。

※ 自由弁当は、自分で作るのもよし、家族が作るのもよし。

※ 昼食の時間帯は、1・2・3・7回は12時20分～12時50分

4・5・6回は12時10分～12時40分

※ 綾上中学校の給食はセンター方式なので休日は給食なし。給食センターは本校に隣接している。

※ 全国の「弁当の日」実施校最新情報はこちら <http://e-kyudai.com/imgbbs/index.php>

③事例報告要旨

実行委員会 神田 陽二 氏

雲南市教育フェスタ2008



事例発表3

週末・長期休校を活用した 「うんなん元気っ子わくわく教室」 の実践について

発表者

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
キラキラ雲南 企画員 神田陽二

雲南市の「放課後こども教室」について

平成17年度から全国に先駆け全市内の児童・生徒を対象に「雲南市子どもの居場所づくり」として発足し、月～金曜日学校施設等を利用し活動してきた。そして平成19年度からは「放課後子ども教室（平日型）」に移行し事業は継続されている。

こうした中で特に土・日・休日と長期の夏冬休み中の居場所の機会の提供が求められる。

これに応じて、平成19年度から新たに学校以外の文化体育施設を開放し、活動の機会を拡大させ「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室（週末型）」の開設をモデル試行することとなった。

雲南市放課後子ども教室の取組み(平日型)

実施箇所数…全小学校区(21小学校区)

活動概要

○実施日

平日(月～金)…学校によって実施日を決定

○活動内容

昔の遊び、スポーツ、学習補助、読書等
見守り活動

○活動の成果

- ・ボランティアで関わってくださる人たちが増えた。
- ・子どもたちが何よりも放課後を楽しみにしている。
- ・子どもと親とのコミュニケーションが図れるようになった。
- ・異年齢での交流ができるようになった。

○課題

- ・ボランティアの方のスキルアップ
- ・保護者と地域の方との交流
- ・教職員の放課後子ども教室に対する意識改革
- ・プログラムメニューの充実
- ・特別に配慮を要する子ども達への対応(発達に応じた対応)

文化体育施設利用の

「うんなん元気っ子わくわく教室」の取組み(週末型)

実施箇所数…市内文化体育6施設を中心に開催

活動概要(平成19年度)

「感育」「歩育」「健育」「徳育」をテーマに質の高いプログラムを提供

○実施日

休日(土日及び長期休校)

○活動内容と実績

スポーツ、音楽、ミュージカル、ダンス、野外活動、もの作り活動等

延べ347教室、合計4400人の小・中学生が参加

約1,500人のボランティアスタッフが協力

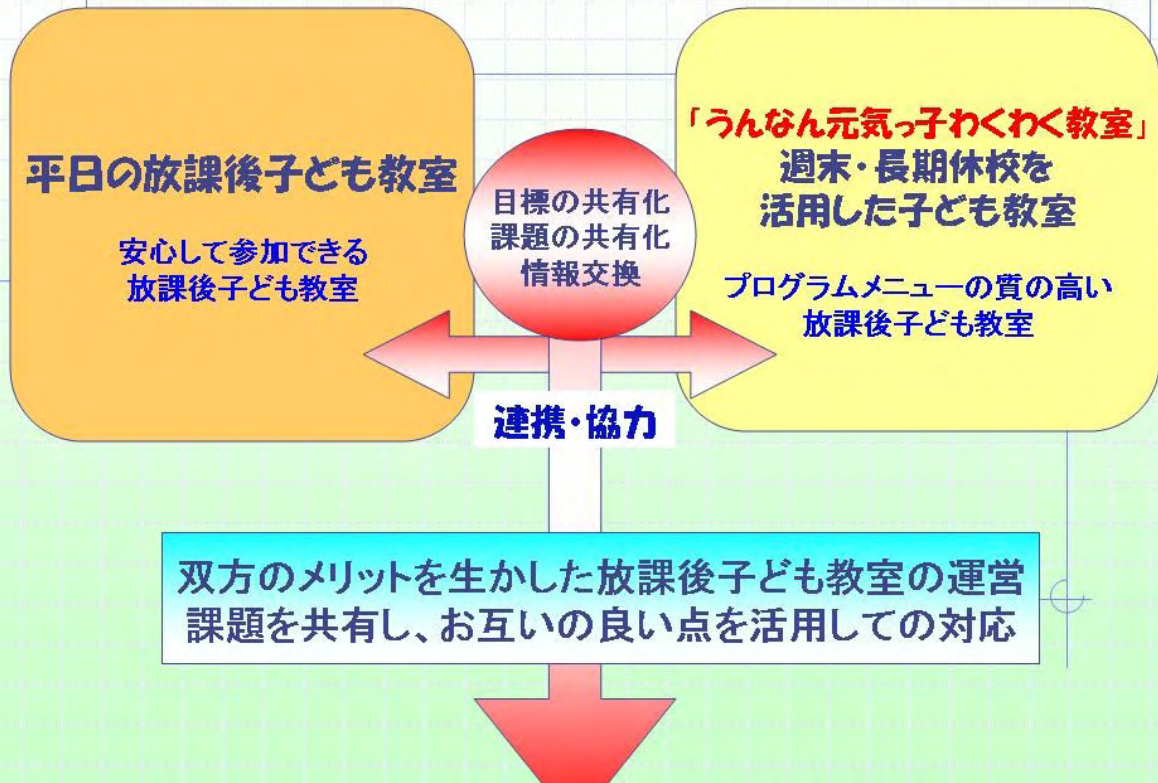
○活動の成果

- ・遊びを通じて豊富な体験活動と自ら選択する力を育成
- ・学校区や年齢を超えた交流
- ・文化、体育などの専門的プログラムを子どもたちが楽しんで体験した

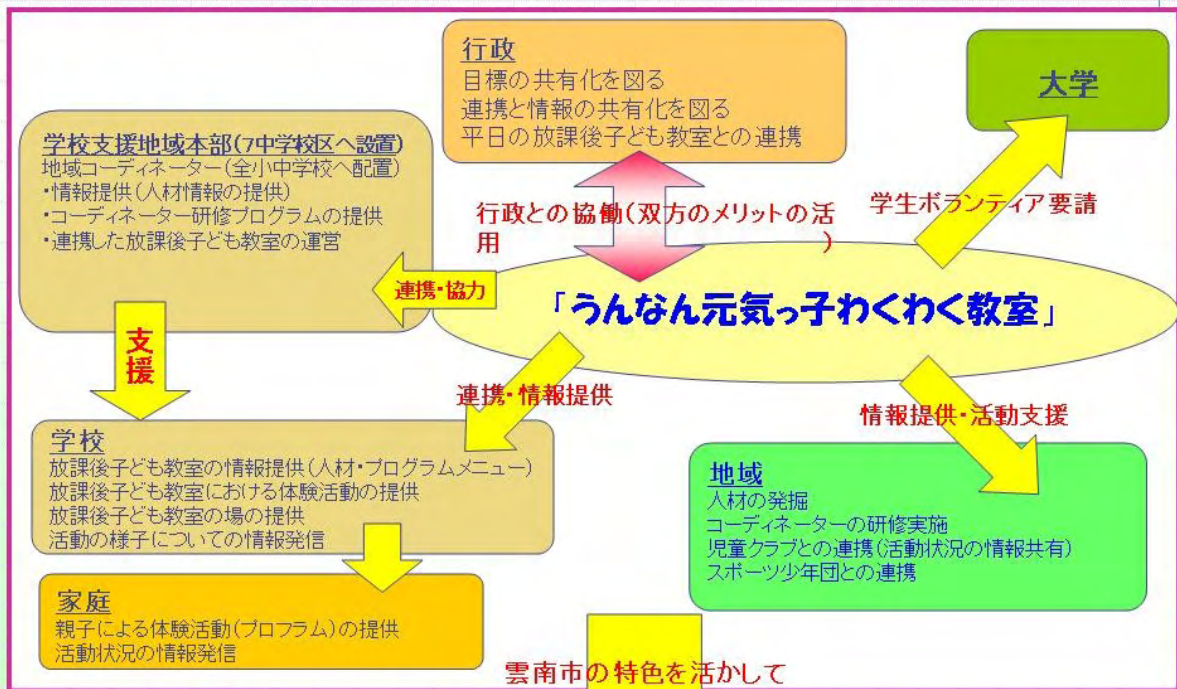
○課題

- ・平日型の放課後子ども教室、放課後児童クラブとの連携
- ・スポ少・部活動との連携
- ・周知の方法
- ・参加者の固定化
- ・6施設以外での子ども教室の新しい展開

新たな雲南市の目指す放課後子ども教室



関係機関との連携



放課後子ども教室は雲南市内の
『地域における総合的な学習の時間』として位置づける

平成20年度

「うんなん元気っ子わくわく教室」の目的・テーマ

- 「感(性)育」「歩(行)育」「健(康)育」「徳育」
+「木育」をベースに、子どもたちの「思考力」
「判断力」「表現力」を一層深めることができる
体験活動の「場」を提供する
- 「平日型」と「週末型」の放課後子ども教室の果た
す役割を明確にし互いに連携する
- 市内全中学校区に設置する「学校支援地域本部」
との連携・協力

本年度の事業のテーマ

「夢」と「自信」をもたせる放課後子ども教室

～学校、家庭、地域、行政の連携・協力による魅力あるプログラム展開～

教室参加への工夫(広報の手段)

- プログラムの配布
(毎月、学校全児童・生徒を対象)
- ポスター掲示、チラシ配布
- 携帯電話(QRコード)の活用
- ホームページの作成
- 行政無線(告知放送の活用)
- ケーブルテレビの活用(文字放送)
- 新聞、テレビなどマスコミの取材協力

12月号
うんなん元気っ子
わくわく教室



アスパル(三刀屋) 金曜日 17:00~18:00
アスパルキッズ☆
 12日(金) クリスマスツリーを飾ろう☆
 19日(金) カローリング教室
 26日(金) キンホール教室
 スポーツしりとりイラストを描いてアスパルで楽しく遊ぼう!

わくわく☆ゲートボール 13日(土) 14:00~15:00
 みんなで楽しくゲートボールをしよう!

わくわく☆ファミリーウォーキング 21日(日) 7:30~8:30
 おいしいおはろあさん、お父さん、お母さんと一緒にウォーキングをしよう! 稲士手を中心に2kmと5kmのコースを歩くよ。

中学生のお兄さんにバスケットを教わろう!! 20日(土) 14:00~15:30
 三刀屋中学校のお兄さん、バスケットを教えてくれるよ。ハンドリング技術や新しいゲームが盛りだくさんだよ☆

わくわく3B体操 27日(土) 14:00~15:30
 毎朝にやっていた体操を身につけて、みんなと楽しくウォーキングをしよう!

■三刀屋文化体育館 アスパル TEL: 0854-45-9222 (FAX: 45-9223)

チェリヴァホール(木次) ミラクル★ 12月4日(水)
チェリヴァシアター「チェスラーシカ」 20日(土) 11:00~15:00
 子どもの心 500円 大人 1,000円(当日1,200円)
 「この曲にはいい、とこれくらゐいるんだらう。一人ぼっちの人が、チェスラーシカとアコのギター。ふんわりとした音が、この曲にさやがな幸せを生み出して、「愛」をみんなまでチェスラーシカに伝えている!!」

マジック教室 7日(日) 10:00~12:00
 トキトキするようなマジックを覚え、みんなをビックリさせちゃおう!
 (定員10名程度)

うんなん荷荷道場 21日(日) 10:00~12:00
 出雲名人による荷荷道場! 技を習って荷荷名人になろう!

■木次経済文化会館チェリヴァホール TEL: 0854-42-1155 (FAX: 42-1251)

ラメール(加茂) 冬休みの宿題! 12月8日(日)
お琴に親しもう! 6日(土) 14:00~17:00
 13日(土) 14:00~17:00
 20日(土) 14:00~17:00
 ☆参加費 (楽器借料として) 1000円/月
 黒板な色音がするお琴♪
 日本の伝統文化に親しもう☆

書き初め練習教室 13日(土)・20日(土)
 ① 9:30~12:00
 ② 13:30~16:00
 習字が得意な人も苦手な人も大集合!
 冬休みの書き初めが楽しくなるかも。
 習字用具を持ってきてね!

親子お料理教室 20日(土) 9:45~13:00
 ☆定員 10組
 ☆持ってくるもの
 エプロン、三角巾、スプーン、はし
 ☆参加料: 300円
 ☆会場: ガモてらす

ハーフに親しもう! 20日(土) 9:30~12:00
 ☆参加費: 300円
 ☆会場: ガモてらす
 オリジナルリースを作って楽しいクリスマスを演出しよう!

■加茂文化ホールラメール TEL: 0854-49-8500 (FAX: 49-6200)

大東体育館(大東) 12月8日(日)
スポンジテニス教室 6日(土) 10:00~12:00
 みんなで楽しくスポンジテニス☆

卓球教室 6日(土) 15:00~17:00
 みんなで楽しく卓球にチャレンジしよう!

親子エアロビクス教室 13日(土) 13:00~15:00
 お父さんもお母さんもお楽しみながら体力づくり☆

家族で作るお正月料理 26日(金) 9:30~12:30
 ~手作りおせちにもくわはしも一役!
 ☆定員 10組 ☆参加料: 300円
 ☆持ってくるもの
 エプロン、三角巾、はし
 ☆会場: 大東健康福祉センター

■大東公園市民体育館 TEL: 0854-43-5511 (FAX: 43-5512)

出前教室 12月4日(水)
古民家1日満喫教室 6日(土) 9:30~18:30
 ☆定員: 15名
 ☆参加料: 700円(保険料込)
 ☆場所: 倉敷市 倉敷山崎町およびむらさきの古民家(園地集合・解散)
 里山探検(いりてごはん!)
 古民家の歴史、暮らしについてお話をしよう!
 夕刻には保護者の方も一緒に一緒に帰ろう!

ウォーキング 12月8日(日)
マップを作ろう! ~加茂町編 13日(土) 9:00~15:00
 海洋センター集合!!
 ☆参加料: 200円(保険料として)
 ☆持ってくるもの
 筆記用具、雨具、自転車、おむすび弁当
 加茂町の名所・史跡をめぐってオリジナルウォーキングマップを作ろう!



施設を有効利用した教室の開催

文化ホールラメール
チェリヴァホール

地域スポーツの
交流の場

大東公園市民体育館

音楽や文化
活動が充実

スポーツも文化
もでき多様的

文化体育館アスパル

出雲神楽など
歴史を伝える

古代鉄歌謡館

スポーツ施設
夏はプールも

海洋センター



子ども神楽教室



地域の伝統芸能を伝える「場」

木工教室



木に親しみやさしい心を育てる



親と子のふれあいキャンプin雲南



親子体験教室

中村真衣選手の水泳教室



アスリートの本物体験教室

馬 頭 琴 鑑 賞

アーティストの本物体験教室

古 民 家 宿 泊 体 験

自然体験教室



雲南市スポーツ少年団三瓶研修会

スポーツ少年団との交流教室

ドイツユーゲントとスポーツしよう！

部活動と連携した教室

まとめ 「活動の成果」

〔直接的な成果〕

- ①楽しく遊びながら学ぶ学習プログラムが展開できた
- ②子どもたちのやる気と意欲を高めるプログラムを提供できた
- ③学校区を超えた子どもたちの交流、異年齢の交流ができた
- ④スポ少や部活動と連携したプログラムが提供できた
- ⑤放課後児童クラブからの参加がみられた
- ⑥高校生、中学生のスタッフとしての協力が生まれた

〔間接的な効果〕

- ①市内文化体育施設で遊ぶ子どもたちの姿が増えた
- ②わくわく教室が親子のコミュニケーションの場となった
- ③地域の大人が特技を発揮する場ができた
- ④地域で子どもを見守る意識が高まった
- ⑤子どもたちが雲南市の魅力を再発見し、誇りを持って郷土を愛する心が育ってきた

まとめ 「今後の課題」

1. 学校利用の放課後子ども教室との役割分担を踏まえた更なる連携
2. 参加する子どもの固定化と新しい参加者の確保対策
3. 学校教職員、地域住民、保護者との共通理解
4. ボランティアスタッフの確保と資質向上
5. 継続的な教室開設への行政からの支援策(継続的・安定的)
6. 全市内の立地条件への対応
(交通手段の確保、吉田・掛合の子どもたちを対象にした教室の開催)
7. プログラムの周知徹底と普及対策(情報の共有化)
8. さらなる地域の教育力再生にどうつなげていくのか

うんなん元気っ子

わくわく教室

<http://user.kkm.ne.jp/bgkamo/>